

1. 子育て家庭を支援するための環境づくり								
(1) 教育・保育サービスの充実								
No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
1	通常保育事業の推進	入所定員：1,990人 受入可能数：2,388人	入所定員：1,958人 受入可能数：2,349人	こども育成課		入所定員：1,993人 受入可能数：2,237人	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性がある かも含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
2	延長保育事業の推進	実施園：28園	実施園：28園	こども育成課		実施園：32園	多様な保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が 必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
3	休日保育事業の推進	実施園：2園 定員数：30人	実施園：2園	こども育成課		実施園：2園 定員数：30人	受入れ体制の課題解決に向けた取り組みの検討が必 要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
4	夜間保育事業の推進	実施園：1園 定員数：30人	実施園：1園	こども育成課		実施園：1園 定員数：30人	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性がある かも含めた検討が必要。	現在の施設数と定員を維持して、継続実施。
5	保育所の整備	第1福ちゃん保育園増改築 認定こども園はるとり保育園増改築	継続実施	こども育成課		ことぶき認定こども園給排水管工事 釧路さかえ保育園建替え工事 釧路旭夜間保育園建替え工事 湖畔幼稚園建替え工事	計画的に整備を進めるべく、意向調査も含めた検討 が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
6	乳児保育事業の推進	実施園：29園	実施園：29園	こども育成課		実施園：29園	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性がある かも含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
7	保育所職員に対する研修の推進	釧路市保育研修会：1回 291人参加	年1回実施	こども育成課		釧路市保育研修会：2回実施	保育と教育の部分が充足できる研修の実施。	関係機関と協議しながら、継続実施。
8	障がい児保育事業の推進	実施園：11園 受入人数：34人	実施園：11園	こども育成課		実施園：12園 受入人数：45人	多様化する子供の特性に合わせた保育の実施の検 討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
9	病児保育事業の実施	実施園：1園	実施園：1園	こども育成課		実施園：1園	利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
10	認定こども園の普及推進	情報提供実施 認定こども園への移行数：6園	継続実施	こども育成課		情報提供実施	多様な保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が 必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
11	認可保育所、幼稚園、認定こども 園と小学校の連携	小学校へのなだらかな接続のための連携 （園児の小学校見学・引継シートの活用）	継続実施	こども育成課 教育支援課		小学校へのなだらかな接続のための連携	引継ぎシートの活用について、教育委員会と引き続 き連携が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
(2) 地域における子育て支援の充実								
12	乳幼児訪問指導の実施	訪問数：延べ1,428人	継続実施	健康推進課		訪問数：延べ1,125人	必要な家庭への訪問は実施できていると考える。	継続実施。
13	ファミリー・サポート・センター 事業の推進	実施箇所：1箇所 3月末登録会員数：1,226人 ひとり親家庭の優先利用	実施箇所：1箇所	こども育成課		実施箇所：1箇所 3月末登録会員数：1,210人	利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
14	就学援助費の支給	支給人員：2,513人	継続実施	教育支援課		支給人員：2,112人	申請漏れにより制度が受けられないことがないよう に周知を行う。	継続実施。
15	児童館の運営	21館	21館	こども育成課		21館	施設の老朽化。 乳幼児が利用しやすい環境の整備等、一般利用者定 着に向けた取組。	施設の老朽化や人口減少に応じた効率的な運営を図 るため、他の公共施設との集約化・多機能化を検討 するとともに、適切な維持管理に努め、長寿命化を 図っていく必要がある。
16	子育て短期支援事業（ショートの ステイ、トワイライトステイ）の推 進	ショートステイ：27件/87日 トワイライトステイ：13件/21日	継続実施	こども支援課		ショートステイ：44件/165日 トワイライトステイ：14件/16日	必要としている世帯への多様な周知方法。	受入先との速やかな調整を継続。
17	一時預かり事業の推進	実施園：7園 総定員数：96人	実施園：7園	こども育成課		実施園：7園 総定員数：96人	利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
18	つどいの広場事業の推進	4,449人	継続実施	こども育成課		3,183人	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少。	継続実施。
19	家庭児童相談等の充実	家庭児童相談：463件【件数誤り 正:10件】 母子相談：1,721件 父子相談：112件	継続実施	こども支援課		家庭児童相談：16件 母子相談：1,401件 父子相談：113件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携。
20	地域子育て支援拠点事業の推進	実施箇所：6箇所	実施箇所：6箇所	こども育成課		実施箇所：6箇所	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少。	安心安全に利用できる環境作りと相談の実施。
21	認可保育所、幼稚園、認定こども園における地域交流の推進	町内会、老人クラブ等との交流	継続実施	こども育成課		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため交流事業は実施できない状況である。	継続実施。
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	ガイドブック発行：2,000部	継続実施	こども支援課		ガイドブック発行 2,000部	関係各所と連携し、正確な情報を掲載できるよう努める。	継続実施。
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	なし （令和元年度より実施・令和2年度より拡充）	実施箇所：4箇所	こども育成課 健康推進課		実施箇所：4箇所	相談内容の複雑化に伴い、利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。 子育て支援コーディネーターを派遣した相談日の拡充。
24	保育所の園開放の推進	週1回実施	週1回実施	こども育成課		週1回実施	地域の子育て世帯が利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
25	阿寒幼稚園、マリモ幼稚園開放事業の実施	阿寒幼稚園：9回/66人 マリモ幼稚園：6回/52人	阿寒幼稚園：年9回を継続 マリモ幼稚園：年6回を継続	阿寒保健福祉課		阿寒幼稚園：11回/28人 マリモ幼稚園：5回/4人	新規の利用者が少なく、子どもの人数も減少傾向にあり、参加者数が増えない。	認定こども園阿寒幼稚園、マリモ幼稚園共に継続実施。
（3）子育て支援ネットワークの構築								
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	—	—	こども支援課	○	—	—	—
26	釧路市地域子育て力推進事業の実施（せわすき・せわやき隊）	子ども虐待防止講演会参加 代表者会議実施 オレンジリボン運動（オレンジリボン作成・オレンジリボン入りティッシュ配布）	継続実施	こども支援課		子ども虐待防止講演会参加 代表者会議実施 通学路の見守り活動 オレンジリボン運動（オレンジリボン作成）	参加者の確保。 オレンジリボン入りティッシュ配布は新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となり、参加なし。	各事業への活動参加を呼びかけ。
27	どさんこ・子育て特典制度の推進	加盟店：68件	継続実施	こども育成課		加盟店：82件	道と連携し、制度の推進を図っていく。	継続実施。
28	子ども会活動への支援	助成活動支援	継続実施	教育支援課 阿寒生涯学習課		助成活動支援	少子化における活動の縮小。	【釧路】 継続実施。 【阿寒】 町内会単位の活動から複数の町内会の連携促進。
（4）働きながら子育てしやすい環境の充実								
2	延長保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
3	休日保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
4	夜間保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
6	乳児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	—	—	こども支援課	○	—	—	—
17	一時預かり事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	—	—	こども育成課 健康推進課	○	—	—	—
29	男女平等参画プランに基づき女性団体、他課との共催による啓発講座の開催	他課との共催によるDV防止講演会、男女平等参画センターとの共催によるセミナーや講演会、イベントの開催 合計8回 702人	継続実施	市民協働推進課		市主催及び男女平等参画センターとの共催によるセミナーや講演会、イベントの開催。 合計12回 503人（他課との共催によるDV防止講演会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止）。	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数が減少したもの。	継続実施。
30	仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	国等が作成したポスターやリーフレットを掲示するとともに、ホームページやFacebook、広報誌等に掲載	継続実施	商業労政課		国等が作成したポスターやリーフレットを掲示するとともに、ホームページやFacebook、広報誌等に掲載。	積極的に情報収集を行い、より多くの情報を提供する。	今後も継続して周知する。
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	待機児童数 0人	待機児童数 0人	こども育成課		待機児童数 0人	希望する家庭の児童が利用できるよう、現在の環境を維持していく。	継続実施。

2. 健やかに生み育てられる環境づくり

（1）安全・安心な母子保健医療等の充実

12	乳幼児訪問指導の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
32	母子健康手帳の交付及び妊産婦相談	手帳交付：962件 妊婦相談開催数：258回	継続実施	健康推進課		手帳交付：740件 妊婦相談開催数：253回	母子健康手帳交付数は年々減少している。 個々の状況に応じた相談対応を行っている。	継続実施。
33	妊婦健康診査の実施	妊婦健診受診票交付数：延べ13,536件 受診総数：延べ11,818件	継続実施	健康推進課		妊婦健診受診票交付数：延べ10,339件 受診総数：延べ 8,795件	妊娠届出数の減少に伴い妊婦健診受診票の交付数も減少している。	継続実施。
34	乳幼児健診の実施	乳幼児健診を受診した人の割合 受診率の平均96.7% 4ヶ月児健診：99.0% 10ヶ月：93.4% 1歳6ヶ月児健診：99.6% 3歳児健診：95.1%	受診率の平均97.0%	健康推進課		乳幼児健診を受診した人の割合 受診率の平均：99.1% 4か月児健診：100.0% 10か月児健診：95.8% 1歳6か月児健診：99.2% 3歳児健診：100.8%	各健診において、一定数の未受診者が存在する。	継続実施。
35	フッ素塗布の推進	塗布率：55.3%	塗布率：70%	健康推進課		塗布率：45.1%	新型コロナウイルス感染症等の影響により、塗布率が低下している。 今後も健診等での周知を行う。	継続実施。
36	歯科検診の実施	むし歯のない児の割合 1歳6か月児：96.5% 3歳児：79.9%	1歳6か月児のむし歯のない児の割合98.7% （H29全国平均）	健康推進課		むし歯のない児の割合 1歳6か月児：98.4% 3歳児：85.8%	一定数の「う歯」保有者がいる。	継続実施。
37	子育て支援のための環境づくり	サークル支援・サークル室の利用：106回実施	継続実施	こども育成課		サークル支援・サークル室の利用：81回実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少。	継続実施。
38	子育て教室の実施	【釧路】子育て支援拠点センターにて4クール実施 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：17回（停電により1回中止） 参加者数：延べ194名	【釧路】子育て支援拠点センター 開催回数：4クール（16講座） 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：18回	こども育成課 阿寒保健福祉課		【釧路】子育て支援拠点センターにて4クール実施 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：11回 （コロナにより4回中止） 参加者数：延べ102名	【釧路】 地域の子育て世帯が利用しやすい環境作りの検討。 【阿寒】 出生数の減少等による参加者数の減少。	【釧路】 関係機関と連携しながら、受け入れを拡大。 【阿寒】 わんぱく広場 令和3年度で終了。
39	マタニティ講座の開催	日曜マタニティ講座 年6回：延べ238人 （定員（組）に対する参加割合99.2%）	継続実施	健康推進課		・年28回、延べ137人 マタニティ講座（集団開催）：3回、延べ57人 〃（個別対応）：25回、延べ80名 ・定員（組）に対する参加割合＝53.5% （定員128組、256人）	妊娠、出産、子育てへの不安や悩みを解消する目的で参加する市民が多いなか、新型コロナウイルス感染症の影響で、感染防止策を講じながら、希望者が参加できる体制を構築していく必要がある。感染状況に応じ、集団開催が困難な場合は、個別指導を行うなど、臨機応変に対応していく。	・感染防止策を講じた講座の開催。 定員を減らし、回数を増やす。 個別対応。 ・社会資源の一つである子育て支援拠点センター保育士との連携。
40	事故防止啓発事業の推進	発達に合わせた育児副読本を各種健診等で配付	継続実施	健康推進課		発達に合わせた育児副読本を各種健診等で配付	必要に応じて、事故防止について説明している。	継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
41	予防接種の実施	B C G：931人 四種混合：3,906人 不活化ポリオ：36人 麻しん・風しん：1,990人 二種混合2期：1,096人 ヒブ：3,859人 小児用肺炎球菌：3,866人 子宮頸がん：8人 日本脳炎：8,148人 水痘：1806人 B型肝炎：2,871人	継続実施	健康推進課		B C G：773人 四種混合：3,147人 不活化ポリオ：0人 麻しん・風しん：1,785人 二種混合2期：822人 ヒブ：3,100人 小児用肺炎球菌：3,092人 子宮頸がん：443人 日本脳炎：4,532人 水痘：1,558人 B型肝炎：2,287人 ロタリックス：1,451人 ロタテック：18人	小児科開業医の高齢化。	継続実施。
42	妊産婦訪問の実施	全戸訪問：実730件 養育支援訪問：実288件	継続実施	健康推進課		全戸訪問：実609件 養育支援訪問：実161件	訪問を希望しない家庭へは、その他の母子保健事業でアプローチすることができている。	継続実施。
43	育児相談の実施	7ヶ月育児児相談：40回/延べ906人利用	継続実施	健康推進課		7か月育児児相談：32回/延べ733人利用	昨年度よりは受診率は向上したが、一定数の未受相者が存在する。	継続実施。
44	未熟児養育医療費助成	助成対象者数：16人 助成金額：4,899千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年33人 助成金額：30,313千円	養育医療の対象となる乳児を把握し、対象者へ確実に給付を行えるよう、医療機関との連携を強化する必要がある。	継続実施。
45	小児救急医療体制の充実	拠点病院 1 箇所	継続実施	健康推進課		拠点病院 1 箇所	なし。	継続実施。
46	乳幼児に係る医療費の助成 R3.8～名称変更「子ども医療費助成」	助成対象者数：年11,925人 助成件数：104,520件 助成金額：190,495千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年10,907人 助成件数：89,617件 助成金額：217,346千円	小学生以上の通院医療費助成を行っている自治体もあり、他都市の状況を把握する必要がある。	継続実施。
47	産後ケア事業の実施	なし （令和元年度より実施）	継続実施	健康推進課		1泊2日：3組 2泊3日：5組	R4年度より対象を拡大し、実施機関も医療機関に加え助産院でも実施。今後も必要な対象者が利用しやすい体制をつくっていく。	継続実施。
（2）「食育」の推進								
48	魚食の普及及び啓発	【水産課】 地元魚介類を活用した料理教室・講座等の実施：計11回 /延べ419人 【小学校】 5種18回実施：さんま5、さば3、たら1、ししゃも1、昆布8回 【中学校】 8種27回実施：さんま3、さば4、たら2、ししゃも1、鮭3、いか3、いわし4、昆布7回	継続実施	水産課 教育支援課		【水産課】 地元魚介類を活用した料理教室・講座等の実施計13回 延べ444名 【小学校】 5種20回実施：さば2、たら3、鮭2、いわし5、昆布8回 【中学校】 5種24回実施：さば4、たら2、鮭5、いわし1、昆布12回	【水産課】 ・講師の確保。 ・魚種の偏り。 【教育支援課】 釧路産の魚を積極的に使用したいが、漁獲量の減少により、提供に十分量の確保が難しいことや価格の高騰により、限られた給食費の中でどう提供していくかが課題である。	【水産課】 料理教室や講座等の内容の充実化。 【教育支援課】 ふるさと釧路の豊かさ、すばらしさを再認識してもらうため、今後も釧路産の魚介類を使用した給食を提供する。
49	幼児食育教室の開催	5回実施：88組	5回実施	こども育成課		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理実習等は実施できない状況である。	年5回継続実施。
50	食育事業の推進	【教育総務課（旧：学校給食課）】 試食会実施回数：小学校/23回・中学校/9回 【こども育成課】 ・認可保育所、認定こども園で食育指導の実施 ・保護者向け給食試食会と食育講話の実施 ・地産地消の日の実施：27園 【農林課】 JA及びよつ葉乳業協力のもと、小学生を対象に地元食材を用いた調理実習の実施：5校 【阿寒】 市立幼稚園で食育指導の実施	継続実施	教育支援課 こども育成課 農林課 阿寒保健福祉課		【教育支援課（旧：学校給食課）】 試食会実施回数：小学校/0回・中学校/0回 【こども育成課】 ・認可保育所、認定こども園で食育指導の実施 ・地産地消の日の実施：5園 ・牛乳消費拡大の取り組み（2回）：5園 ※保護者向け給食試食会と食育講話は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【農林課】 ・出前授業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・農村都市交流センター（リフレ）加工実習室を活用した、地元食材を使った加工実習の実施 【阿寒】 阿寒幼稚園及びマリモ幼稚園で食育指導の実施	【教育支援課】 家庭における望ましい食習慣が図られるよう、学校と家庭が一体となった食育の推進を図る必要があるが、コロナ禍により、試食会を開催することが難しい状況となっている。 【こども育成課】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため試食会等は実施できない状況である。 【農林課】 web等を活用した非接触開催方法の検討。 主催者である農家の負担の軽減。 【阿寒】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施が難しくなっている。	【教育支援課】 家庭における食に対する関心及び理解を深め、望ましい食習慣が形成されるよう、今後も試食会を実施し意識啓発に取り組む。 【こども育成課】 継続実施。 【農林課】 継続実施。 【阿寒】 継続実施。
51	親と子の料理教室	開催回数：2回 参加数：延べ14組	継続実施	音別保健福祉課		開催回数：2回 参加数：延べ4組	新型コロナウイルス等の感染症対策。	継続実施。
52	地場産品普及促進事業の展開	・各学校に対し、エゾシカ肉、オロナミンC、根釧牛乳等地場産品を題材にした出前授業の実施 ・こども育成課に対する認可保育所、認定こども園での「ふるさと給食」実施に係る食材の情報提供	継続実施	産業推進室		・各学校に対し、エゾシカ肉、オロナミンC、根釧よつ葉牛乳等地場産品を題材にした出前授業の実施	生産者や企業と消費者を繋ぐ継続した取組が必要である。	「地場産品を買ってもらう取組」と「消費者と企業を繋ぐ取組」を継続して進めていく。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
（３）学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実								
53	リーフレットの作成・配布	辞典722冊配付 リーフレット(高校生用)：1,656枚配布 リーフレット(中学生用)：1,499枚配布	継続実施	健康推進課		【配布】 辞典：10冊配布 リーフレット(高校生用)：1,520枚配布 リーフレット(中学生用)：1,207枚配布 【作成】 リーフレット(特別支援学級用)：3,000枚作成	課題だった特別支援学級用のリーフレットを作成することができた。今後は、該当生徒に対し、講座終了後等にこのリーフレットを活用し、担当教諭等から個別の理解度に合わせた内容の振り返りや指導を引き続き依頼していく。	講座前の学校との打合せを今まで同様、丁寧に実施するなかで、現状を聞き取り、必要な生徒に活用をしていただけるような依頼を継続していく。
54	高校生ライフデザイン講座の実施	10校：1,613人実施	全校実施	健康推進課		10校 11回：1,548人 ※同一校で2回(1年生、2年生)実施	講師が関東、札幌等の都心部から来釧していることもあり、新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法を検討しながら実施していく。	継続実施。
55	中学生思春期ライフデザイン講座の実施	17校 18回：1,527人実施	全校実施	健康推進課		15校 15回：1,227人	感染対策を講じながら各校と開催に向けて調整を行うほか、コロナ禍における思春期の子ども達の状況を聞き取り、様々な悩みに対し、相談先等の情報提供をするなど、養護教諭等と連携しながら事業を進めていく。	継続実施。
56	保護者・関係職種のための研修・学習会、ネットワーク会議などの開催	研修会3回：182人実施 会議1回：23人実施	会議1回	健康推進課		研修会：1回、39人 会議：1回、14人	中学、高校での講座開催時の学校打合においても、随時、関係者間で課題を共有し、解決への取組を協議することは出来ている。	継続実施。
57	思春期相談	思春期相談ダイヤル：12件	継続実施	健康推進課		思春期相談ダイヤル：5件	相談先は各校やリーフレット等を通じ、周知できている。	継続実施。
（４）結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の推進								
1	通常保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
2	延長保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
3	休日保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
4	夜間保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
5	保育所の整備	—	—	こども育成課	○	—	—	—
6	乳児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
7	保育所職員に対する研修の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
8	障がい児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
9	病児保育事業の実施	—	—	こども育成課	○	—	—	—
10	認定こども園の普及推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
12	乳幼児訪問指導の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
14	就学援助費の支給	—	—	教育支援課	○	—	—	—
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	—	—	こども支援課	○	—	—	—
17	一時預かり事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
18	つどいの広場事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
19	家庭児童相談等の充実	—	—	こども支援課	○	—	—	—
20	地域子育て支援拠点事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
21	認可保育所、幼稚園、認定こども園における地域交流の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	—	—	こども支援課	○	—	—	—
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	—	—	こども育成課 健康推進課	○	—	—	—
26	釧路市地域子育て力推進事業の実施（せわすき・せわやし隊）	—	—	こども支援課	○	—	—	—
30	仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	—	—	商業労政課	○	—	—	—
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	—	—	こども育成課	○	—	—	—
32	母子健康手帳の交付及び妊産婦相談	—	—	健康推進課	○	—	—	—
33	妊婦健康診査の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
34	乳幼児健診の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
35	フッ素塗布の推進	—	—	健康推進課	○	—	—	—
36	歯科健診の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
37	子育て支援のための環境づくり	—	—	こども育成課	○	—	—	—

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
38	子育て教室の実施	—	—	こども育成課 阿寒保健福祉課	○	—	—	—
39	マタニティ講座の開催	—	—	健康推進課	○	—	—	—
40	事故防止啓発事業の推進	—	—	健康推進課	○	—	—	—
41	予防接種の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
42	妊産婦訪問の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
43	育児相談の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
44	未熟児養育医療費助成	—	—	医療年金課	○	—	—	—
46	乳幼児に係る医療費の助成 R3.8～名称変更「子ども医療費助成」	—	—	医療年金課	○	—	—	—
47	産後ケア事業の実施	—	—	健康推進課	○	—	—	—
58	E P F（E P F - Young Farmers） 独身農業青年と釧路市及び管内町村在住女性との交流会	回数：3回 参加人数：延べ81人	継続実施	農林課		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため未実施。	感染拡大防止に配慮した開催の検討。	継続実施。
59	特定不妊治療費助成事業の実施	55件	継続実施	健康推進課		149件	本事業については令和4年度から不妊治療の保険適用に伴い令和3年度で終了しているため、令和4年度においては年度をまたぐ1回の治療について経過措置として助成金の対象とする。	—
60	新婚世帯向け住宅の提供	なし （令和2年度より実施）	継続実施	住宅課		令和3年度末時点で「新婚世帯向け住宅」を4戸提供した結果、1戸入居となった。	新築市営住宅の希望に集中し、既存市営住宅においてのニーズは低いが、経済的な負担の大きい新婚世帯の支援に繋がっている。	現在は目標戸数の設定は行っていないが、今後の応募状況により検討する。
61	中学生赤ちゃんふれあい体験学習の実施	【釧路】 実施回数：2回 1校/72人 【音別】 実施回数：2回/延べ14人	継続実施	教育支援課 音別保健福祉課		【釧路】実施回数：1回 1校/82人 【音別】 実施回数：2回/延べ16人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、親子ふれあい体験は事前インタビューの動画鑑賞を実施した。	【釧路】 今年度においても、コロナ禍における実施方法を引き続き模索する中で、十分な間隔を開ける等、密にならない工夫について課題がある。 【音別】 出生数の減少により、協力していただく親子の選定について課題がある。	【釧路】担当校と協力し、「ふれあい」の観点から、乳幼児と接する機会を、オンライン方式含め、可能な範囲で生徒に提供できる実施方法で行う。 【音別】 親子ふれあい体験の実施方法の見直しが必要。
62	高校生と幼稚園児のふれあい体験事業の実施	3回：計79人	継続実施	阿寒保健福祉課		2回：計54人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施が難しくなっている。	継続実施。
3. 子どもの成長を支える環境づくり								
（1）子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備								
10	認定こども園の普及推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
11	認可保育所、幼稚園、認定こども園と小学校の連携	—	—	こども育成課 教育支援課	○	—	—	—
61	中学生赤ちゃんふれあい体験学習の実施	—	—	教育支援課 音別保健福祉課	○	—	—	—

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
62	高校生と幼稚園児のふれあい体験事業の実施	—	—	阿寒保健福祉課	○	—	—	—
63	教科等の年間指導計画の改善・充実（確かな学力の育成）	教科指導の作成率：100% 学校訪問指導回数：154回	継続実施	教育支援課		教科指導の作成率：100% 学校訪問指導回数：93回	コロナ禍においても、市教委独自に学校訪問を行うなど指導の充実に努めてきたが、今後も「確かな学力」の確立のため、授業改善に向けて実効性のある取り組みを進めていく。	継続実施。
64	教職員研修の支援（確かな学力の育成）	研修講座：1,483名	継続実施	教育支援課		研修講座：969名	学校教育における今日的な課題や各学校が求める課題解決につながる教育内容や方法について講座を設定する。	継続実施。
65	少人数指導等個に応じたきめ細かな指導の実施（確かな学力の育成）	加配措置を受け、 小学校26校のうち、20校で実施 中学校15校のうち、11校で実施	継続実施	教育支援課		小学校25校のうち、13校で実施 中学校14校のうち、13校で実施	なし。	継続実施。
66	実験学習事業の実施（確かな学力の育成）	遊学館サイエンスルーム事業 47クラス 1,376名	継続実施	生涯学習課		遊学館サイエンスルーム事業 31クラス 1,422名	令和2年度に続き、令和3年度においても一部の学校において新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。しかし、学校から一部の授業だけでも実施してほしい旨の声があり、実施した。コロナ禍であるため、サイエンスルーム事業実施にあたっては、今後も柔軟な対応を取っていく。	すべての授業を開催できない場合（コロナ禍の制限により一部のみの開催時）も想定して企画・対策を進めていく。
67	英語指導助手の活用（確かな学力の育成）	派遣回数小学校：391回 派遣回数中学校：324回	継続実施	教育支援課		派遣回数小学校：395回 派遣回数中学校：220回	なし。	継続実施。
68	学校適応指導教室の設置（豊かな心の育成）	通室児童・生徒：20人	継続実施	教育支援課		通室児童・生徒：26人	・集団生活への適応を促すため、個に応じた学習活動の支援や日常的な生活の指導に苦慮する場合がある。 ・適応指導教室への通室に繋ぐべき児童生徒数の増加に対応する、物的・人的キャパシティがなく苦慮している。	継続実施。
69	交流体験等の体験活動支援（豊かな心の育成）	1回実施：35人参加	継続実施	教育支援課		新型コロナウイルスの影響のため中止。	新型コロナウイルスの影響で宿泊研修が中止となり、今後も宿泊を伴う事業を実施すべきか懸念される。	継続実施。
70	道徳の時間の確保（豊かな心の育成）	小・中学校実施率：100%	継続実施	教育支援課		小・中学校実施率：100%	今後は授業改善等、質的な充実が課題。	継続実施。
71	教育相談体制の充実（豊かな心の育成）	教育相談：112件 教育研究センター：46件 いじめカットライン：7件 ふれあい教室相談：48件	継続実施	教育支援課		教育相談：124件 教育研究センター：33件 いじめカットライン：5件 ふれあい教室相談：22件	近年は、不登校に係る相談が増えており、これまで以上に学校及び関係機関と連携した対応が必要である。	継続実施。
72	いじめ問題対策	Q-Uテスト等実施率：100% ネットモラル講座：150人参加	継続実施	教育支援課		Q-Uテスト等実施率：100% ネットモラル講座：新型コロナウイルス感染予防のため未実施	いじめへの適切な対応に向けて、教職員を対象とした研修講座等を継続実施し、スキルアップに努めていく必要がある。	継続実施。
73	ふるさと学習促進事業の推進（豊かな心の育成）	くしろ子どもインターンシップ事業：参加者数65人	継続実施	教育支援課		新型コロナウイルス感染症予防のため中止	なし。	継続実施。
74	子どもチャレンジの実施（豊かな心の育成）	4講座 5回 123人参加	継続実施	生涯学習課		4講座 5回 82人参加	飽きさせない講座内容の充実。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、今後も内容の充実及び質の向上を図る。
75	職場体験の充実（豊かな心の育成）	中学校 15校実施	継続実施	教育支援課		中学校 10校実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施校数が減少。	継続実施。
76	体育の指導の充実（健やかな体の育成）	学校体力向上計画作成率100%	継続実施	教育支援課		学校体力向上計画作成率100%	コロナ禍における児童生徒の運動不足が懸念されることから、実効性のある取組を充実させることが必要。	継続実施。
77	同好会、部活等の充実（健やかな体の育成）	運動系同好会・少年団、部活動加入率 同好会・少年団：27.6% 部活動：51.2% 外部指導者登録者数：300人	継続実施	教育支援課		運動系同好会・少年団、部活動加入率 同好会・少年団：42.7% 部活動：45.4% 外部指導者登録者数：291人	競技人口の減少等に伴う合同チーム化による生徒指導、事故・怪我への学校での対応の難しさがある。	継続実施。
78	コミュニティ・スクールの推進	小学校 導入率23.1% 中学校 導入率20.0%	小学校 導入率60.0% 中学校 導入率40.0%	教育支援課		小学校 導入率38.5% 中学校 導入率33.3%	コミュニティ・スクール制度の活動をより建設的にするためには、地域住民や学校が共通認識できる目標を自主的に見つけ、積極的な議論のもとにより多くの意見を反映させる必要がある。	継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
79	小学校と中学校の情報交換会の開催	校区内小学校との引継実施率：100%	継続実施	教育支援課		校区内小学校との引継実施率：100%	義務教育9年間を一体的にとらえて教育活動を行うことが重要とされてきていることから、今後も小学校から中学校への円滑な接続を図るため、きめ細かな引継ぎを実施していく。	校区内小学校との引継実施率：100%
（2）子どもの健全育成の推進								
15	児童館の運営	—	—	こども育成課	○	—	—	—
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	—	—	こども育成課	○	—	—	—
80	子供交流館等の運営	延べ利用児童数：2,927人	継続実施	阿寒保健福祉課		延べ利用児童数：510人	子どもの人数が減少傾向にあり、コロナの影響により利用人数がさらに減少した。感染対策を講じ、安心して利用できるよう取組を継続する。	継続実施。
81	放課後子ども広場の運営	延べ利用児童者数：2,404人 （うち、土曜日の延べ利用児童者数35人）	継続実施	音別保健福祉課		延べ利用児童者数：2,893人 （うち、土曜日の延べ利用児童者数0人）	コロナ禍により行事の減少があったため、状況を注視しつつ行事を復活させる。 児童数が減少傾向のため利用者も減少する可能性がある。	継続実施。
82	放課後子ども教室の運営	1 箇所（興津小学校放課後チャレンジ教室）	継続実施	教育支援課		1 箇所（興津小学校放課後チャレンジ教室）	新型コロナウイルス感染症予防対策により活動が制限される中、現在の環境下においても活動内容を充実させていく必要がある。	継続実施。
83	青少年健全育成の啓発活動の実施（くしろの子ども大集合）	実施（全小中学校） 参加：596人（保護者・教職員含む。）	継続実施	教育支援課		釧路市内各小中学校及び北陽高等学校の生徒会代表・保護者・地域が「読書週間の定着に向けて」をテーマにグループディスカッションを実施した。	引き続き、学校・保護者・地域が協働し、全市的な取り組みにつなげていく。	令和3年度より形態を変更して実施。
84	青少年交流事業の実施	鹿児島県出水市の鶴荘学園・高尾野中学校ツルクラブ釧路湿原研修により22人が来釧	継続実施	教育支援課		新型コロナウイルス感染症予防のため中止 オンライン交流による実施	なし。	継続実施。
85	「少年の主張」釧路市大会の実施	開催回数：1 回	継続実施	教育支援課		開催回数：1 回	新型コロナウイルス感染症予防対策として入場者制限を実施。今後は感染状況を見極め、制限の緩和を目指す必要がある。	継続実施。
86	ジュニアリーダー養成研修等の実施	開催回数：7回	継続実施	阿寒生涯学習課		当初予定回数：4回 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止	参加者の減少傾向が見られるので、通年参加型から、単一の事業に変更。	地域を活かした参加しやすい事業内容。
87	遊び体験事業の実施	・伝承遊び：312回/952人 ・工作遊び：588回/10,400人 ・遊びんピック 10月(3日間)/4,053人	継続実施	生涯学習課		・伝承遊び：314回/1,422人 ・工作遊び：586回/6,242人 ・遊びんピック 10月(8日間)/1,100人	次年度以降も新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、更なる充実を図り多くの集客を目指す。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、今後も内容の充実及び質の向上を図る。
88	幼年消防クラブ活動の実施	21組織：1,271人	継続実施	消防本部予防課		20組織：1,402人	新型コロナの影響で消防行事の実施が出来なかったことに伴い、予防啓発活動参加イベントが減少。	幼年・少年消防クラブ参加の行事やイベントの企画。
89	少年消防クラブ活動の実施	3組織：428人	継続実施	消防本部予防課		3組織：383人	新型コロナの影響で消防行事の実施が出来なかったことに伴い、予防啓発活動参加イベントが減少。	幼年・少年消防クラブ参加の行事やイベントの企画。
90	多様な体験活動の機会の充実	・博物館で遊ぼう：225人 ・夏休み親子土器作り教室：25人 ・化石クリーニング教室：20人 ・おそなえもちをつくろう：51人	継続実施	博物館		・博物館で遊ぼう：178人 ・夏休み親子土器作り教室：22人 ・化石クリーニング教室：20人 ・まが玉をつくろう：25人 他企画展・観察会等を実施 「おそなえもちをつくろう」は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら市民ニーズ等を把握した事業継続に努める。	引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら市民ニーズの把握と事業の内容充実に努める。
91	ファイヤーティーチャー事業の実施	5校：224人	継続実施	消防本部予防課		3校：71人	現在、ファイヤーティーチャーと同様の業務を防火教育として複数行っているが、ファイヤーティーチャー事業としては実施していないため、今後事業の一本化等も含め見直しが必要。	廃止や新規事業も含め、今後のファイヤーティーチャー等の防火教育の方向性を検討中。
92	まなぼっとわくわく体験隊の実施	実施回数 13回：30人参加	継続実施	生涯学習課		1 講座 1 0回 1 5 1 人参加	飽きさせない講座内容の充実。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、今後も内容の充実及び質の向上を図る。
93	児童手当の支給	現況届提出率99.9% 受給者：10,116人	現況届提出率 100%	こども支援課		R3実績99.9% 受給者 8,877名	—	令和4年度から児童手当の制度改正により、一部の受給者を除き現況届提出が廃止になるが現況届提出必要者については引きつつき提出漏れがないよう努める。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
94	青少年健全育成事業の実施	【釧路】34小中学校区で各種取組を実施 【阿寒】親子陶芸教室、親子そば打ち体験教室の実施2教室：36人 【音別】啓発誌「水鏡」1回発行全戸配布・「夏・冬休みのきまり」2回発行全戸配布	継続実施	教育支援課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		【釧路】31小中学校区で各種取組を実施 【阿寒】親子陶芸教室 2回/16人参加 ※親子アイヌ文様切り絵教室は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止 【音別】啓発誌「水鏡」1回発行全戸配布・「夏・冬休みのきまり」2回発行全戸配布	【釧路】なし 【阿寒】サークル等の積極的なかかわりの継続。 【音別】学校と連携をとり、児童生徒への啓発活動を積極的に行っていく。	継続実施。
95	芸術鑑賞会の実施	【阿寒】青少年芸術劇場（小学生対象）1回：169人鑑賞 【音別】1回開催：104人鑑賞	継続実施	阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		【阿寒】青少年芸術劇場（小学生対象）1回開催：161人鑑賞 【音別】1回開催：78人鑑賞	学校行事と重ならないよう、開催時期の調整が必要である。	アンケートの活用など、興味・関心が高まる題材の選定をし、今後も継続実施する。
96	親子自然ふれあいヤマベ放流事業の実施 R2.4～名称変更「自然ふれあい事業」	7/21開催：参加者24人（小学生14人・大人20人）	継続実施	音別生涯学習課		8/7開催：参加者27人（幼児4人・小学生8人・大人15人）	児童生徒の減少により参加者数が減少傾向にある。	自然にかかわる且つ魅力ある事業内容を検討していく。
97	こども読書活動推進事業の実施	・育成講座：2回/40人参加 ・学校ブックフェスティバル：2,350人参加 ・職員派遣：6回実施 ・読書活動サポートセット：5校 ・おはなし会等：274回/2,434人参加（釧路） 43回/290人参加（阿寒） 35回/278人参加（音別）	継続実施	生涯学習課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		・育成講座：1回/8人参加 ・学校ブックフェスティバル：523人参加 ・職員派遣：2回実施 ・読書活動サポートセット：27校 ・おはなし会等：173回/915人参加（釧路） 13回/90人参加（阿寒） 10回/123人参加（音別）	コロナ禍においてもSNS等により積極的に事業の情報発信を行っているものの、参加者の固定化等により各事業の参加者数が減少してきている。	周知方法の工夫及び強化を行うとともに、開催内容の見直しや充実等を図りながら、今後も継続して行う。
98	心の教育推進会議の開催	2回 （生徒指導推進協議会及び青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施）	継続実施	教育支援課		2回 （生徒指導推進協議会及び青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施）	なし。	継続実施。
99	社会を明るくする運動の推進	7/7街頭啓発実施：22団体/154人の参加	継続実施	教育支援課		街頭啓発は新型コロナウイルス感染症予防のため中止 関係各所の啓発動画を作成しYouTubeにて配信	なし。	継続実施。
100	補導巡視活動の実施	巡回実施数：645回 従事者数：延べ1,964人	継続実施	教育支援課 (青少年育成センター)		巡回実施回数：526回 従業者数 延べ1,896人	なし。	継続実施。
101	ファミリーサポート事業の実施	支援件数：6件 （新規6件・終了6件）	継続実施	教育支援課 (青少年育成センター)		4件 （新規1件・終了3件）	会員の確保が困難。	継続実施。
102	町内巡視	【音別市民課】徒歩巡視1回：車輛巡視 60回 【音別生涯学習課】徒歩巡視1回	継続実施	音別市民課 音別生涯学習課		【音別市民課】徒歩巡視0回：車輛巡視 60回 【音別生涯学習課】徒歩巡視 0回 徒歩巡視は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症の状況下においても、積極的な啓発活動の継続。	啓発活動として今後も実施する。
103	有害環境浄化事業の実施	・コンビニエンスストア118店、書店6店、複合施設等13店舗への陳列方法等の点検と指導 ・携帯電話販売店31店に対するフィルタリングの推奨	継続実施	教育支援課 (青少年育成センター)		・コンビニエンスストア101店、書店6店、複合施設等 5店舗への陳列方法等の点検と指導 ・携帯電話販売店14店に対するフィルタリングの推奨	なし。	継続実施。
（3）家庭や地域の教育力の向上								
28	子ども会活動への支援	—	—	教育支援課 阿寒生涯学習課	○	—	—	—
97	こども読書活動推進事業の実施	—	—	生涯学習課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課	○	—	—	—
104	あけぼのママースクールの開催	24回開催：延べ135人参加	24回開催	こども支援課		22回開催：延べ51人参加 ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため2回中止	新たな利用者の確保。	関係機関からも周知依頼。
105	新入学児童子育て講話の実施	実施26校 受講者数1,095人 参加率91％	参加率：90％以上 （講話参加者数/新入学保護者数）	教育支援課		新型コロナウイルス感染症予防のため中止	なし。	継続実施。
106	家庭教育講座の実施	家庭教育講座を開催している小中学校及び幼稚園保育所の割合 小19.2％ 中20.0％ 幼保37.7％	小50.0％ 中50.0％ 幼保50.0％	教育支援課		各関係機関へ周知したが、申込がなく、実績なし	コロナ禍でも開催できるよう講座内容や周知方法の検討が必要。	講座内容を精査し、オンライン配信等も活用して実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
107	学校支援ボランティア事業の充実	登録者数：800人	継続実施	教育支援課		登録者数：659人	ボランティアの学校間連携による活動の活性化を図ることが必要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中で、オンラインシステム等も活用し、活動内容の充実を図る必要がある。	継続実施。
108	子ども会等地域活動の機会の充実	公民館分館事業への活動助成支援	継続実施	阿寒生涯学習課		公民館分館事業への活動助成支援	事業内容のマンネリ化。	幅広い年代が参加できる活動内容の検討。
109	高齢者と子どもの交流イベントの開催	【介護高齢課】 実施回数4回：参加者1,337人 【阿寒保健福祉課】 実施回数1回：参加者67人	【介護高齢課】 実施回数 4回 【阿寒保健福祉課】 実施回数 1回	介護高齢課 阿寒保健福祉課		【介護高齢課】 新型コロナウイルス感染症対策のため開催を中止した。 【阿寒保健福祉課】 コロナにより実施を中止	【介護高齢課】 高齢者人口は増加しているが老人クラブ会員数は減少しており、当該イベントの参加者数も減少傾向にある。 【阿寒保健福祉課】 子どもの人数減少により参加者の減。	【介護高齢課】 今後も継続実施していきたい。 【阿寒保健福祉課】 継続実施。
110	スポーツ少年団の活動の支援	交流大会10種目 1,123人 【釧路】57団体 団員数：1,157人 【阿寒】1団体 団員数：89人 【音別】1団体 団員数：17人	継続実施	スポーツ課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		交流大会6種目 741人 【釧路】50団体 団員数：939人 【阿寒】1団体 団員数：71人 【音別】1団体 団員数：24人	令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小して開催することができたが、コロナ前と比べ、参加者数が減少。 児童生徒の減少やスポーツ離れによる団体数の減少が課題である。	【釧路】スポーツ少年団事務局であるスポーツ振興財団が主となって事業を行い、現状打開に向けて事業を実施していく。 【阿寒・音別】スポーツ事業を通じ、地域としてのスポーツ少年団活動の増加・育成に繋げたい。
111	スポーツ教室の開催	【釧路】13種目17教室：757人 【阿寒】4種目 6教室：1,235人 【音別】4種目 4教室：59人	継続実施	スポーツ課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		【釧路】10種目40教室：1,117人 【阿寒】3種目 4教室：499人 【音別】2種目 2教室：22人	一定の開催数や参加者数を維持し、釧路地区では増加しているものの、児童・生徒数が減少していく中で、今後も増加につなげることが課題である。	【釧路】感染症対策を講じて実施できるよう計画していく。また、参加者増を図るため、チラシやポスター、SNS等を利用し、周知活動を充実させる。 【阿寒】一般向けの事業を含めた事業内容の充実。 【音別】withコロナに対応した事業内容への見直しを行い、今後も事業を継続していく。
112	自然体験活動の機会の提供	①こどもエコクラブの周知及び活動支援 ②釧路湿原こどもレンジャー2回実施（雨天中止1回）	①継続実施 ②釧路湿原こどもレンジャー：3回実施	環境保全課		①こどもエコクラブの周知及び活動支援 ②釧路湿原こどもレンジャー2回実施（まん延防止等重点措置期間のため1回中止）	①クラブ数の減少。 ②実施回数の減少。	①こどもエコクラブの周知に向けた取り組み。 ②コロナ禍でも実施回数を減少させることのない対策。
113	外部人材の活用等による教育活動の充実	小・中学校実施率 100%	継続実施	教育支援課		小・中学校実施率 100%	コロナ禍における行動制限等の影響により、外部講師招聘に苦慮した。	継続実施。
114	世代間交流の推進	9/30開催 参加者58人 （小学生19人・中学生2人・成人16人・老人21人）	継続実施	音別生涯学習課		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、シニア世代の活動が衰退傾向にある。	withコロナに対応した事業内容への見直しと、能動的な要素追加や周知方法の工夫等を検討していく。

4. 子どもと子育て家庭にやさしい環境づくり

（1）安心して子育てできる生活環境の整備

60	新婚世帯向け住宅の提供	－	－	住宅課	○	－	－	－
115	子育て世帯向け住宅の提供	特定目的住宅「子育て世帯向け住宅」の提供戸数：15戸（累計：40戸）	提供戸数：累計100戸	住宅課		令和2年度末時点で「子育て世帯向け住宅」を60戸提供し、令和3年度末時点で71戸を提供。前年度対比で11戸増。	市営住宅全体の入居倍率は依然として高いが、導入前に比べ子育て世帯の入居率増に繋がっている。	今後も新築・既設の公営住宅において一定数を「子育て世帯向け住宅」として提供する。
116	生活道路の整備	道路 1,030,890m 歩道 946,953m	継続実施	道路河川課		道路 1,031,410m 歩道 949,194m	計画的に維持修繕、管理を行っていくこと。	今後も安全な道路交通環境の整備を実施する。
117	道路交通安全対策	街路灯：9,043基 道路標識：1,107箇所 誘導ブロック：360箇所 防護柵：38.17km カーブミラー：373本	継続実施	道路河川課		街路灯：9,050基 道路標識：1,107箇所 誘導ブロック：360箇所 防護柵：38.17km カーブミラー：377本	計画的に維持修繕、管理を行っていくこと。	今後も安全な道路交通環境の整備を実施する。
118	交通安全施設等整備促進	要望・相談等に基づく整備を適宜実施	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】なし 【阿寒】なし 【音別】なし	信号機や横断歩道、一時停止標識等の設置権限は公安委員会にあるため、要望が提出されても必ずしも設置されるわけではない。また設置可となっても道路改良等が必要となるため実際の設置までには時間を要する。	継続実施。
119	通学路の安全確保	通学路安全対策連絡協議会 1回開催	継続実施	教育支援課		通学路安全対策連絡協議会 1回開催	通学路の安全確保に向け、協議会内の密な情報共有を図る。	継続実施。
120	妊娠初期を知らせるマタニティシ ンボルの普及	母子手帳交付時、 マタニティステッカーなどの配付	継続実施	健康推進課		母子手帳交付時、 マタニティステッカーなどの配付	母子健康手帳交付時にマタニティステッカーなどを配付できている。	継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
121	街区公園をはじめとした都市公園等の環境整備	街区公園の継続整備：1箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：8箇所	街区公園の新規整備：3箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：40箇所	公園緑地課 阿寒建設課 音別建設課		街区公園の新規整備：1箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：13箇所	十分な維持補修の実施による安全確保と施設長寿命化。	計画に則った公園整備と改築更新の実施。
122	防犯灯の整備	【釧路】 維持灯数：14,538灯（内LED灯：11,910灯） 【阿寒】 維持灯数：340灯（内LED灯：13灯） 【音別】 維持灯数：72灯（内LED灯：72灯）	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】 維持灯数：14,427灯（内LED灯：13,540灯） 【阿寒】 維持灯数：349灯（内LED灯：349灯） 【音別】 維持灯数：72灯（内LED灯：72灯）	LED灯からLED灯への更新に係る補助の要望が増えているため、街路灯整備費補助制度の活用について周知を行う。	街路灯補助団体が街路灯を維持していきやすいよう、必要な助言等を行う。
（2）子どもを交通事故や犯罪等の被害から守る活動の推進								
123	交通安全教育の推進	【釧路】156回：14,527人参加 【阿寒】5回：310人参加 【音別】2回：32人参加	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】105回：11,243人参加 【阿寒】4回：188人参加 【音別】1回：18人参加	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数・参加者数が減少しているが、子どもや高齢者が関係する事故の割合は、今後も増加する傾向にあると考えられるため、今以上に交通安全教育の重要性を周知する必要がある。	今後も継続して交通安全教育の推進を図る。
124	交通安全防犯大会	80人参加	継続実施	阿寒市民課		大会開催中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為） ※大会事業のうち、標語の募集事業のみ実施 対象：阿寒地区小中学生　応募者　220人	近年、大会参加者が減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今後の大会参加者は、さらに減少する可能性がある。 ※新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、大会開催を判断する必要がある。	大会の開催案内の方法等を工夫し、今後も交通安全、防犯の啓発活動の一環として、継続して大会を開催する。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、感染防止策を講じながら、大会を開催する。
125	「こども110番の家」事業の推進	【釧路】 ○「こども110番の家」 ：連合町内会を通じたチラシの配付 ○「こども110番の店」（ステッカー掲示） ：807店舗・事業所への掲示、小中学校へのチラシ配付、広報くしろへの掲載 【音別】 「こども110番の家」登録：20箇所	継続実施	教育支援課 (青少年育成センター) 音別市民課		【釧路】 ○「こども110番の家」 ：連合町内会を通じたチラシの配付 ○「こども110番の店」（ステッカー掲示） ：808店舗・事業所への掲示、小中学校へのチラシ配付、広報くしろへの掲載 【音別】 「こども110番の家」登録：21箇所	登録箇所の確保。	継続実施。
126	生活安全施策の推進	釧路市生活安全推進協議会開催	継続実施	市民生活課		釧路市生活安全推進協議会開催	地域での不審者の出没、また、スマートフォンの普及によるトラブル等は後を絶たず、今後も関係機関での情報共有と連携が必要である。	今後も継続して関係機関での情報共有・連携を行う。
127	防犯の広報啓発	毎月、地域安全ニュースと地域の駐在だよりを全戸に回覧し、啓発を実施	継続実施	阿寒市民課 音別市民課		毎月1回（年12回）	交通安全、防犯の啓発活動の一環として、今後も継続して事業を行う必要がある。	継続実施。
（3）被害に遭った子どもへの支援の推進								
71	教育相談体制の充実 （豊かな心の育成）	—	—	教育支援課	○	—	—	—
5. 配慮を要する子どもと家庭を支える環境づくり								
（1）児童虐待防止対策の充実								
128	釧路市家庭福祉推進連絡協議会(要保護児童対策地域協議会)の機能充実	代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	こども支援課		代表者会議：1回開催（書面開催） 研修会は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	新型コロナウイルス感染症予防対策により開催状況に影響あり。	継続実施。
129	相談体制の充実、各相談機関のネットワーク強化	要保護児童対策地域協議会 個別ケース検討会議：61回 相談受理件数：189件	継続実施	こども支援課		要保護児童対策地域協議会実務者会議：3回 個別ケース検討会議：81回 相談受理相談：151件	遅滞なく会議を開催するにあたっての調整。	関係機関との密な連携。
130	児童虐待防止講演会の開催	1回開催	1回開催	こども支援課		1回開催	参加者の確保。	参加対象者や開催方法等、柔軟な事業実施を検討する。
131	児童虐待防止啓発パンフレットの配布	認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校に14,735部配布	認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の全世帯配布	こども支援課		許可保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校へ配布	わかりやすく効果的な内容の検討必要。	継続実施。
132	児童虐待防止オレンジリボン着用の推進	・市職員へ庁内LANにて着用の呼びかけ ・オレンジリボンツリー、オレンジリボン横断幕の設置 ・こども支援課及び各支所にてオレンジリボン配布（イトーヨーカドー釧路店及びザ・ビッグ春採店、ツルハ春採7丁目店、コーチャンフォー釧路店前にてオレンジリボン入りポケットティッシュ配布（計1,000個））	継続実施	こども支援課		・市職員へ庁内LANにて着用の呼びかけ ・オレンジリボンツリー・オレンジリボン横断幕の設置 ・こども支援課及び各支所等にてオレンジリボン及びポケットティッシュ配布	運動のPR方法。	配布場所の検討。
133	育児（養育）支援家庭訪問事業の推進	養育支援回数：852回 産後支援回数：286回	継続実施	こども支援課		養育支援回数：505回 産後支援回数：229回	必要としている世帯への周知。	関係機関への定期的な周知を継続。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
134	早期育児支援事業（虐待の予防と早期発見及びその啓発）	・養育に不安のある世帯に養育支援家庭訪問員を派遣 ・妊娠届出受理時に保健師が虐待、ネグレクトの早期発見。乳幼児健診・育児相談等のアンケートを系口に子育て支援につなぐ	継続実施	こども支援課 こども育成課 健康推進課		【こども支援課】 養育に不安のある世帯に養育支援家庭訪問員を派遣 【こども育成課】 保育施設と関係課とのケース会議等で連携して、情報共有や見守りを行った 【健康推進課】 妊娠届出時に保健師が虐待、ネグレクトの早期発見、乳幼児健診、育児相談等のアンケートを系口に子育て支援につなぐ	【こども支援課】 課題を抱える世帯への適切なアプローチ方法の検討。 【こども育成課】 施設が把握した問題や実態について、迅速に関係課に情報提供できる体制が重要。 【健康推進課】 妊娠届出時にアンケートや面接に基づき、関係機関と連携をとり、虐待予防と早期発見に努めることが重要。	【こども支援課】 養育環境改善及び虐待早期発見のため事業継続。 【こども育成課】 関係機関と連携しながら、継続実施。 【健康推進課】 継続実施。
（2）生活困窮世帯、ひとり親家庭の自立支援対策の充実								
135	ひとり親家庭相談の充実	母子相談：1,721件 父子相談： 112件	継続実施	こども支援課		母子相談：1,401件 父子相談：113件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携。
136	ひとり親家庭就労自立支援促進事業の実施	・企業体験事業 2日開催：2人参加 ・企業説明会 1日開催：6人参加 ・お父さん・お母さんの自習室 15日開催：延べ15人参加	企業体験事業 2日開催 企業説明会 1日開催	こども支援課		ひとり親家庭の為の自習室 30日開催 延べ35人参加 就労セミナー、企業説明会は新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止 （企業体験事業は、就労セミナーに変更）	企業・参加者の確保。	開催方法の検討。
137	母子家庭等就業・自立支援事業（母子家庭等就業・自立支援センター）の実施	・講習会12回開催：延べ106人 ・相談件数：481件	講習会 12回開催	こども支援課		講習会5回開催 延べ17人 相談件数 226件	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、講習会開催回数を減らさざるを得なくなった。	ひとり親世帯の自立促進のため事業継続。
138	児童扶養手当の支給	現況届提出率 99.2% 受給者数：2,714人	現況届提出率 100%	こども支援課		現況提出率 99% 受給者数：2,397人	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、原則の窓口提出とあわせ郵送提出も可能とした結果、高い提出率を維持できたが、今後の感染状況により原則の窓口提出のみへ戻した際の周知が課題である。	現況届提出の督促の機会を増やす。
139	災害遺児手当等の支給	支給率 100% 災害遺児手当受給世帯：11世帯 卒業祝い金：2件	支給率 100%	こども支援課		支給率100% 災害遺児手当受給世帯：10世帯 卒業祝い金：3件	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施。
140	女性相談の充実	受理件数：275件	継続実施	こども支援課		受理件数：348件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携。
141	母子寡婦福祉資金の貸付	貸付件数：39件 貸付金額：18,966千円	継続実施	こども支援課		貸付件数：13件 貸付金額：6,790千円	相談者が不利にならないよう適切な対応を行う。	適切な相談対応。
142	ひとり親家庭等の母又は父及び子に係る医療費の助成	助成対象者数：年5,356人 助成件数：37,103件 助成金額：85,856千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年4,727人 助成件数：27,029件 助成金額：62,752千円	親や小学生以上の通院医療費無料化を行っている自治体もあり、他都市の状況を把握する必要がある。	継続実施。
143	生活保護を受けている母子世帯に対する自立支援	OA、介護職員初任者研修等各種資格取得・中学生支援	継続実施	社会援護課		OA、介護職員初任者研修等各種資格取得・中学生支援	年々母子世帯数が減っているため、対象者自体も減っているものの現状の課題等はない。	これまで同様、ケースワークの中で母子世帯に対して、必要に応じて母親への資格取得に向けた支援並びに中学生への学習支援等の支援を継続して行っていく。
144	釧路市ひとり親家庭等日常生活支援事業	なし （令和元年度より実施）	継続実施	こども支援課		母子世帯：1世帯 父子世帯：2世帯 派遣回数：259回	必要とする世帯への周知。	相談時等での周知。
（3）障がい児支援対策の充実								
8	障がい児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
145	児童発達支援センター運営の充実	【相談支援】地域支援相談担当 運動：48件 発達：690件 発達障害者支援担当：261件 【保護者向け研修会】 野のはな園：118人	継続実施	児童発達支援センター		【相談支援】地域支援相談担当 運動：30件 発達：753件 発達障害者支援担当 ※平成30年度で事業終了 【保護者向け研修会】 野のはな園：0人 ※保護者支援講習会はコロナウイルス感染症拡大防止のため未実施 ※お便りの配布(スマイル子育て便り 月1回発行) 【食育指導】 野のはな園（各クラス）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来通りの研修会実施が困難であった。	研修会の参加人数や会場等、新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施する。 障がい特性に合わせた家庭支援を行う。
146	特別児童扶養手当の支給	受給者数：458人	継続実施	こども支援課		受給者数：557人	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2021年度（令和3年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
147	特別支援教育の充実	小学校：25校 中学校：14校	継続実施	教育支援課		小学校：25校 中学校：14校	特別支援教育の対象児童生徒は増加傾向にあるため、限られた人員や設備でどう対応していくかが課題となる。	継続実施。
148	特別支援教育就学奨励費の支給	支給人員：242人 支給額：8,232千円	継続実施	教育支援課		支給人員：313人 支給額：10,137千円	対象者に対し、申請漏れにより制度が受けられないことがないよう周知を行う。	継続実施。
149	居宅介護事業	障がい者・児 利用事業所数：33箇所 利用延べ人数：4,105名	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：36箇所 利用延べ人数：3,893名	ホームヘルパーの高齢化や離職率が高いことによる、人材確保が課題となっている。	今後も継続して障がい児(者)に対し、自宅での生活を支援するため居宅介護サービスの給付を行う。
150	行動援護の支援	障がい者・児 市内事業所数：2箇所 利用延べ人数：195人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：2箇所 利用延べ人数：209人	潜在的ニーズもあり増加することが見込まれるため、サービス提供事業所の確保が必要。	障がい者自立支援協議会を活用し、事業所の充実に努めるとともに、利用ニーズに応じたサービスが提供できるよう研修等の情報提供や研修会の確保を図る。
151	短期入所事業	障がい者・児 利用事業所数：19箇所 利用延べ人数：753名	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：24箇所 利用延べ人数：516名	重症心身障がい児・者の受け入れを行っている施設等が少なく、特に医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者が利用できる事業所の確保が必要。	必要とするときに利用できるよう、サービス事業所との調整を通じて受け入れ体制の確保・充実に努めるとともに、重度の障がいのある人に対応できるように事業所への働きかけに努める。
152	補装具の交付	障がい者・児 交付件数 462件	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 交付件数 415件	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、障がい児(者)に対して、経済負担軽減のため補装具の交付を行う。
153	日常生活用具の給付	障がい者・児 交付件数 3,404件	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 交付件数 3,477件	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して在宅重度身体障がい児（者）等に対し、日常生活用具の給付又は貸与を行う。
154	移動支援事業	障がい者・児 市内事業所数：25箇所 利用者数：39人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：23箇所 利用者数：32人	障がい児（者）の外出や社会参加を支援するため、事業の継続が必要。	利用者のニーズに応じたサービス提供の充実に努める。
155	幼稚園の障がい児受入の充実	対象児：34人 補助金：1,700千円	継続実施	こども育成課		対象児：49人 補助金：2,850千円	多様化する子供の特性に合わせた、教育・保育の実施の検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
156	児童発達支援事業	市内事業所数：20箇所 利用延べ人数：2,193名	継続実施	障がい福祉課		市内事業所数：32箇所 利用延べ人数：2,529名	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実に図る。
157	放課後等デイサービス事業	市内事業所数：31箇所 利用延べ人数：5,510人	継続実施	障がい福祉課		市内事業所数：49箇所 利用延べ人数：7,555人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実に図る。
158	日中一時支援事業	障がい者・児 市内事業所数：60箇所 利用者数：218人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：61箇所 利用者数：243人	障がいのある児童の増加に伴い、今後も利用者の増加がみこまれ、多様なニーズに対応できる環境や事業所の確保が必要。	地域の実情や利用者のニーズに応じたサービスの提供に努める。
159	保育所等訪問支援事業	利用事業所数：6箇所 利用延べ人数：337人	継続実施	障がい福祉課		利用事業所数：9箇所 利用延べ人数：298人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実に図る。
160	重度障がい児（者）等交通費助成	交付人数：1,140人	継続実施	障がい福祉課		交付人数：1,068人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、重度障がい児(者)の社会参加促進のため交通費の助成を行う。
161	自立支援医療の給付（育成医療）	交付件数：33件 給付額：2,264千円	継続実施	障がい福祉課		交付件数：16件 給付額：848千円	対象者に対し、制度が受けられないことがないよう医療機関と連携した制度周知の継続が必要。	今後も継続して、障がい児に対して、経済的負担軽減のため自立支援医療（育成医療）を給付する。
162	障害児福祉手当の支給	交付延べ人数：1,091人	継続実施	障がい福祉課		交付延べ人数：1,117人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、在宅の重度障がい児に対して、経済的負担軽減のため障害児福祉手当を支給する。
163	難聴児補聴器購入等の助成	助成件数：3件	継続実施	障がい福祉課		助成件数：5件	対象者に対し、制度が受けられないことがないよう北海道釧路鶴野支援学校等と連携した制度周知の継続が必要。	今後も継続して身体障害者手帳交付対象とならない難聴児に対し、必要な補聴器の購入及び修理に対する費用の一部を助成する。
164	幼児こども相談室事業の実施	実施なし（休止） （令和元年度より委託開始）	小集団療育・幼稚園等訪問支援の実施を継続	阿寒保健福祉課		開催回数：83回 小集団利用者数：7人 延べ支援人数：122人	対象人数が少ないため、小集団での療育が成立しにくい。	継続実施。